



## FEATURES

- ・ QX シリーズのサブウーファー
- ・ 設備施工に対する高い柔軟性

## APPLICATIONS

宗教施設、アリーナ、野外スタジアム、ホール、劇場、クラブなど

## DESCRIPTION

QX118 は QX シリーズスピーカー用のサブウーファーです。QX アレイの低域特性を 30Hz まで拡張するよう設計されたこの小型サブウーファーは、卓越した大出力を生み出す高耐入力の 18 インチユニットを搭載しています。フルレンジの QX シリーズと併用するとき特性は 150Hz までに制限されていますが、QX118 は MF/HF スピーカーに対する低域サブシステムとして特性を拡張する能力を持っています。

QX118 の入力コネクタはスクリューターミナルで、他の QX118 に接続するためループスルーコネクタも一組装備しています。

## 18 インチサブウーファー

注釈は最終ページの NOTES をご参照ください。半球空間 = 床置きの場合

### CONFIGURATION

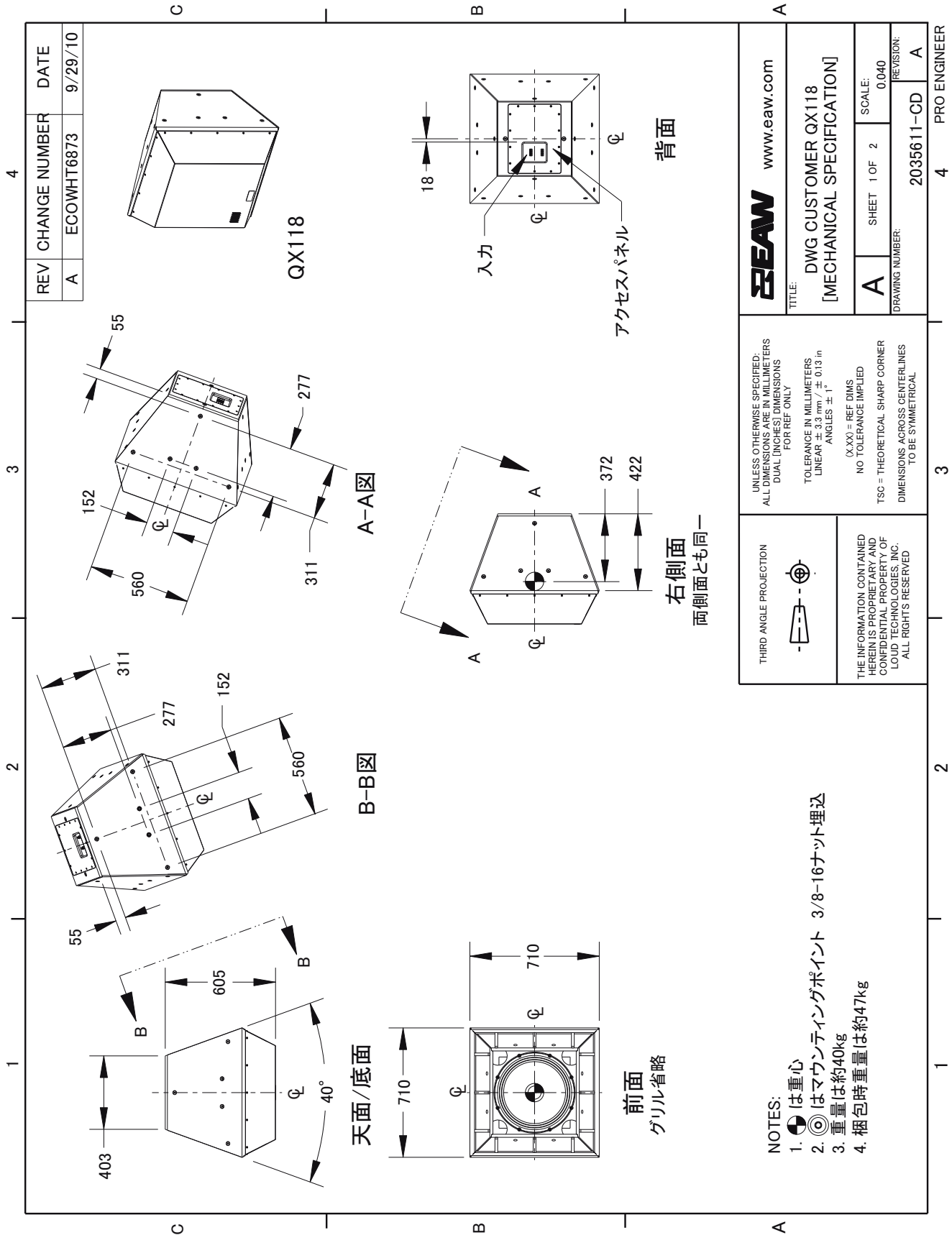
サブシステム		ユニット	音響的負荷
	SUB	18 インチコーン × 1	パスレフ
動作モード		アンプチャンネル	シグナルプロセッシング
		シングルアンプ LF	DSP w/1 ウェイフィルター

### PERFORMANCE

動作範囲	30Hz ~ 150Hz	
公称放射幅	水平	360 度
	垂直	360 度
軸上能率 (SPL)	LF (全方向)	94dB
	(半球空間)	100dB
		30Hz ~ 150Hz
		30Hz ~ 150Hz
入力インピーダンス	公称	最小
	LF	8 Ω
		7.1 Ω @ 150Hz
推奨ハイパスフィルター	ハイパス ⇒ 30Hz, 24dB/oct, パターワース	
アクセラレートライフテスト	LF	80V
		800W @ 8 Ω
軸上限界出力算出値	平均	ピーク
	LF (全方向)	123dB
	(半球空間)	129dB
		135dB

### ORDERING DATA

QX118 黒	2035610
オプション	
アダプターブラケット ACC-ABQX	2036437
レインシールド (ACC-WPSQX)	2036515
水平 U 型金具 黒 (UBKT-QXH)	2036568

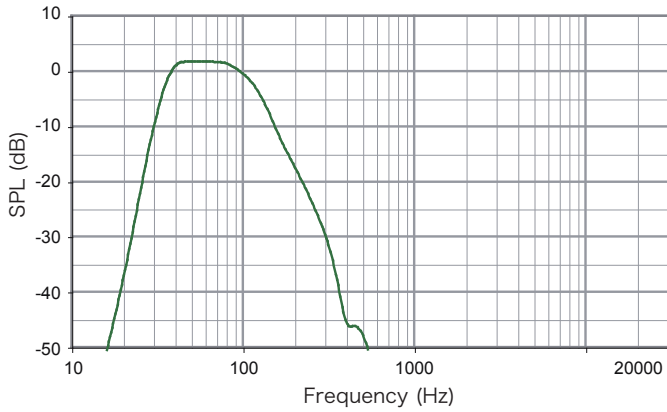


**日本語版注釈**

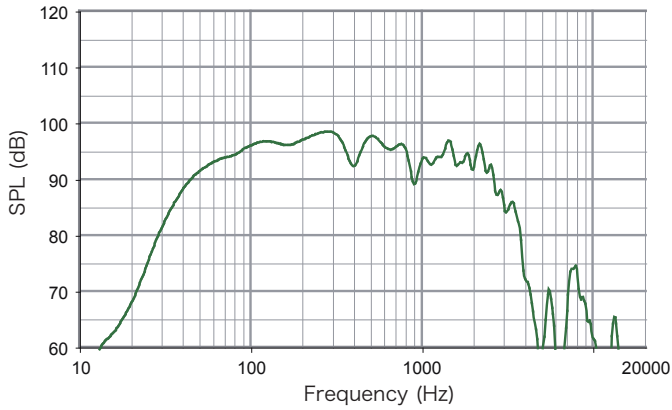
1. 日本語版の図面における長さは小数第一位で四捨五入してあります。

**PERFORMANCE DATA** 注釈は最終ページ目の「NOTE」をご参照ください。

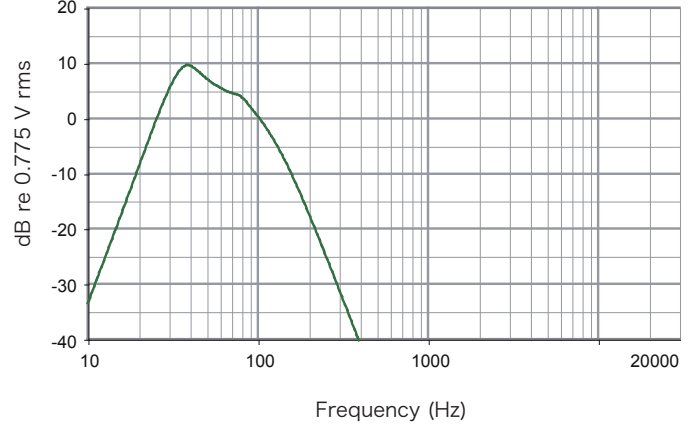
周波数特性：プロセッシング済みマルチアンプ  
LF= 緑



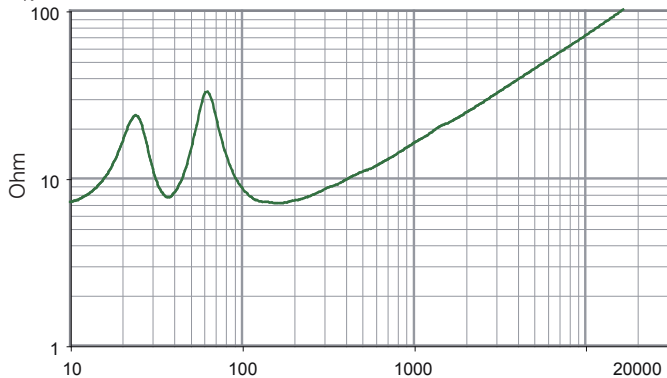
周波数特性：プロセッシングしていない場合  
LF= 緑



プロセッサー特性  
LF= 緑



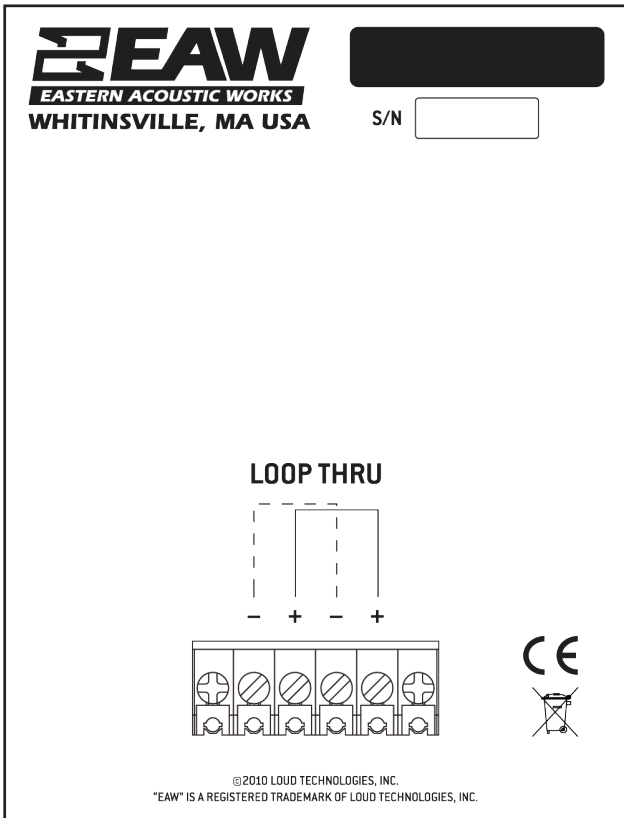
インピーダンス  
LF= 緑



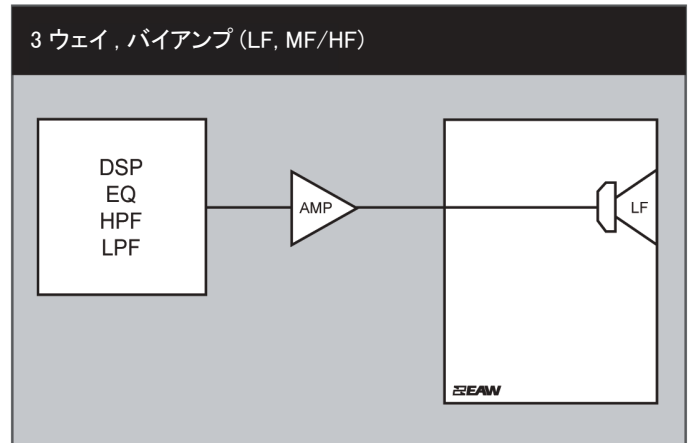
★製品の仕様及び外観は改良のため予告なく変更する場合がございます。

Part Number : QX596 SPEC RD0521-J A00 Mar 2011

## INPUT PANEL



## SIGNAL DIAGRAM



## LEGEND

- DSP: EAW UX8800 または NT 用内蔵 DSP
- HPF: クロスオーバー用、あるいは推奨値に設定してください。
- LPF: クロスオーバー用ローパスフィルターです。
- LF/MF/HF: LF は低域、MF は中域、HF は高域を表します。
- AMP: 適切なパワーアンプをご用意ください。
- XVR: パッシブの LPF、HPF、EQ

## NOTES

### 表組みデータについて

- 測定 / データプロセッシングシステム…プライマリ: F-Chart (EAW 専用ソフトウェア) セカンダリ: B&K 2012
- マイクロフォンシステム…Earthworks M30 : B&K 4133
- 測定…デュアルチャンネル FFT FFT 長: 32768 サンプル サンプリング周波数: 48kHz 対数サインウェーブスイープ
- 測定システムの品質 (不明分含む)…SPL: 正確度  $\pm 0.2\text{dB}$  @ 1kHz, 精度:  $\pm 0.5\text{dB}$  (20Hz ~ 20kHz), 分解能: 0.05dB 周波数: 正確度:  $\pm 1\%$ , 精度:  $\pm 0.1\text{Hz}$ , 分解能: 1.5Hz または 1/48oct 以上 時間: 正確度:  $\pm 10.4 \mu\text{s}$ , 精度:  $\pm 0.5 \mu\text{s}$ , 分解能:  $10.4 \mu\text{s}$  角度: 正確度  $\pm 1$  度, 精度:  $\pm 0.5$  度, 分解能: 0.5 度
- 環境…時間窓による測定 測定スペースの影響をプロセッシング時に排除しほぼ無響室をシミュレート 無響あるいは小スペースのデータとしてプロセッシング
- 測定距離…7.46m 音響特性は 20m でのサブシステムのパワーを位相振幅合成で算出して表示 逆二乗則を適用して他距離のデータを算出
- V (ボルト)…テスト信号の rms 値を測定
- W (ワット)…プロオーディオ業界における「スピーカーの W」は因習的に電圧の 2 乗を定格公称インピーダンスで除算するため、国際的な基準で定義されたエネルギーとしての W という真の単位は存在しないものとした
- SPL (音圧レベル)…信号の平均レベル相当 0dB SPL = 20  $\mu\text{Pa}$
- サブシステム…各通過帯域のユニット及びその音響的負荷 Sub= サブウーファー LF= 低域 MF= 中域 HF= 高域
- 動作モード…選択可能なコンフィギュレーション サブシステム同士がコンマ (,) で区切られている場合 = アンプチャンネルは別 サブシステム同士がスラッシュ (/) で区切られている場合 = 単一アンプチャンネル DSP= デジタルシグナルプロセッサ **※重要※** 表記された仕様を実現するためには EAW 提供の設定による外付けデジタルシグナルプロセッサの併用が必要
- 動作帯域…プロセッシングされた周波数特性で平均出力音圧レベルから -10dB SPL 以内の範囲の数値 幾何学的な軸上で測定 狭い帯域でのディップを除く
- 公称放射幅…0dB SPL を最高レベルとしたとき -6dB SPL のポイントで設定
- 軸上能率…公称インピーダンスで 1W を出力する入力電圧を供給したときの動作帯域における平均出力音圧レベル 外部プロセッサなしで測定 距離 1m
- 公称インピーダンス…4、8、16  $\Omega$  の抵抗を選択 最小インピーダンスポイントは動作範囲内でこの値を 20% 以上下回らない
- 推奨ハイパスフィルター…動作範囲を下回る過剰な入力信号からスピーカーを保護するために適用するもの
- アクセラレートライフトテスト…EIA-426B で定義されたスペクトルを供給した際の最大テスト入力電圧 推奨シグナルプロセッシング / プロテクトフィルターを併用して測定 ユニットの測定は AES2-1984(R)1997 による
- 軸上境界出力算出値…アクセラレートライフトテスト中に実現可能な平均音圧レベルの最高値とピーク音圧レベル ピーク SPL はライフトテスト信号が持つ 2:1 (6dB) のクレストファクターを反映

### グラフデータについて

- 解像度…重要性の低い細部を除去 音響的周波数特性は 1/12oct のケプストラムで平滑化 放射幅とインピーダンスは 1/3oct のケプストラムで平滑化 他は未加工
- 周波数特性…周波数ごとの音響出力の変動を表示 入力信号は一定で公称インピーダンス 4  $\Omega$  の場合 2V, 公称インピーダンス 8  $\Omega$  の場合 2.83V, 公称インピーダンス 16  $\Omega$  の場合 4V 距離 1m プロセッサ併用システムの場合プロセッサのゲインは 0dB
- 放射幅…1/3oct の周波数帯での平均角度 スピーカー背面から測定を開始して最高レベル 0dB SPL に対して -6dB SPL となったポイント この方法では放射角度内に -6dB SPL までドロップした部分も含まれる
- プロセッサの特性…0.775V=0dB の一定した入力信号に対する周波数ごとの出力レベルの変動を表示
- インピーダンス…インピーダンスの変動を  $\Omega$  で表示 対周波数で表示し電圧 / 電流の位相は参照しない インピーダンス値は真の W (上記参照) の算出には使用しないものと思われる
- ポーラデータ…100Hz から 16kHz または動作範囲における水平と垂直の 1/3oct ポーラ特性



★製品の仕様及び外観は改良のため予告なく変更する場合がございます。

Part Number : QX596 SPEC RD0521-J A00 Mar 2011